









一般財団法人

医療・福祉・環境経営支援機構

「経営者のための情報Note」 Vol. 182

		タイトル、及び配布例				
		病 院	診 療 所	歯 科 医 院	福 祉 施 設	一 般 ・ そ の 他
A	 Philosophy Note	<今月のタイトル> 「教える」ことは「学ぶ」ことである				
		○	○	○	○	○
B	 Medical Note	<今月のタイトル> 医療施設等経営強化緊急支援事業、 実施要綱を通知				
			○			
C	 Dental Note	<今月のタイトル> 歯科技工「歴史的変貌」の時代へ				
				○		
D	 Welfare Note	<今月のタイトル> 業種の垣根を越える 「介護関連サービス事業協会」設立				
					○	
E	 Environment Note	<今月のタイトル> 野菜残さでウニを養殖 ～ 磯焼けや食品ロス対策 ～				
		○	○	○	○	○
F	 Topics Note	<今月のタイトル> 目指せ シニアのインスタグラマー ～ 60～90代が観光PR 秩父 ～				
		○	○	○	○	○

「経営者のための情報Note」は、当財団より毎月提供いたします。



Philosophy Note

「教える」ことは「学ぶ」ことである

杉田 圭三

■ 「教える」こと、「学ぶ」こと

儒教で尊重される周末から秦・漢時代の儒者の古礼に関する説を集めた五種の經典、五經（易經・詩經・書經・礼記・春秋）の一つ『礼記』に、「教うるは学ぶの半ば（We learn by teaching）」という教えがあります。内容は、人にものを教えるということは、自分も勉強して、よく理解していなければ教えることが出来ない。従って、自分も勉強することになるので「教える」ということは、自分の知識の不足や、あいまいな点がはっきりするから半分は自分も「学ぶ」ことになるという教えなのです。

特に重要なのは、「学ぶ」の意味です。広辞苑では「まねてする。ならって行く」ことを「学ぶ」こととしています。つまり、善言を聞いても、それを心にとどめて自分のものにしなかったり、また、他の言説をすぐ受売りするような、いい加減な世間で言う受売りであってはならない事を示唆しているのです。「まねてする」は『真似る』ことであり、「ならって行く」は、教えられて自分の身につける『習う』ことなのです。

この事を仕事に置き換え考えると、お客様にプレゼンテーションをすること、部下を指導することは、「教える」ことを実行していることになるのです。従って、当事者である「教える」側が、そのプレゼンテーションや指導する内容を深く「学び」、その知識を行動に移し、智慧として熟知していなければならないこととなります。また、「行動」には、「考える」、「理解する」と言った行為そのものも包含することを忘れてはならないのです。

■ 「教える」ことの大切さ

「教える」という行為を積み重ねることは、自らの「学び」の〈場〉を増やすことになり、結果として、多くの智慧を身に付けることを可能にするのです。また「教える」ことは、自らを高めると同時に、現状を改革し創造する力や、判断の物差しを持つことになり、リーダーとしての資質が備わり、結果、素晴らしい人生を歩むことが出来るようになるのです。

さらに、それは仕事の面でも活かされ、お客様の求めるものを確実に捕え対応することによって、無くてはならない存在としての地位を確立し、やり甲斐の持てる仕事にしていくことが出来るのです。

このように「教える」ことに徹するだけでも、自らの人生を「光輝く」、「希望溢れる」ものにする事が可能になるのです。

■ 「教える」ために必要なこと

1. 自らに厳しい課題を課す

一流のプロのスポーツ選手や芸術家等の話を聴くと、そこには、ある一線を越えた厳しい課題を設定し、それを乗り越えてきた努力の証が有ります。私達がこの混迷する時代にあって新たな道を切り開くためには、「教える」という課題に取り組み、極限まで自分自身を追い込む精神力が求められます。楽な方へ流れる自分に取って代わり厳しいテーマを課し、挑戦することが不可欠となるのです。

2. 渦の中心に身を置く

行徳哲男氏が主宰するBE研究所のBE研修が4泊5日で箱根の山中で開催されていました。その研修で「押し競饅頭」のようなプログラムでの体験が渦中から逃げないことの大切さを私に教えてくれました。それは、数十名の参加者が円を中心に押し詰め合うもので、私が外へ出ようとすると苦しくなり、考え方を変え渦中に入っていこうとすると逆に楽になったのです。この体験から仕事も、半身の構えでは駄目で、主体となって渦の中心に身を置き、ドブプリひたるが必要だということを知りました。



医療施設等経営強化緊急支援事業、実施要綱を通知 《厚生労働省》

厚生労働省は2月12日、医政局長から各都道府県知事に向け、2024年度補正予算に計上した「医療施設等経営強化緊急支援事業の実施」について、通知を発出した。

当該事業は、1. 生産性向上・職場環境整備等支援事業、2. 病床数適正化支援事業、3. 施設整備促進支援事業、4. 分娩取扱施設支援事業・小児医療施設支援事業、5. 地域連携周産期支援事業（分娩取扱施設、産科施設）——等。

中でも、「生産性向上・職場環境整備等支援事業」は、人材確保が喫緊の課題となるなか、限られた人員でより効率的に業務を行う環境の整備費用に相当する金額を、給付金として支給することにより、業務の生産性を向上させ、職員の処遇改善につなげることが目的である。事業の実施主体は、都道府県、市区町村、病院、有床診療所（医科・歯科）、無床診療所（医科・歯科）及び訪問看護ステーションその他厚生労働大臣が認める者。2025年2月1日時点でベースアップ評価料を届け出ている又は同年3月31日時点でベースアップ評価料を届出見込みの病院、有床診療所（医科・歯科）、無床診療所（医科・歯科）及び訪問看護ステーションにおいて、2024年4月1日から2025年3月31日までの間に、業務の効率化や職員の処遇改善を図ることが求められる。支給額は、病院・有床診療所が許可病床数×4万円、無床診療所は、1施設×18万円、訪問看護ステーションは1施設×18万円である。なお、許可病床数が4床以下の有床診療所は1施設×18万円の支給となる。

給付金の支給対象は、▼ICT機器等の導入による業務効率化、▼タスクシフト/シェアによる業務効率化、▼給付金を活用した更なる賃上げ ——の取組みとなる。給付金の支給を受けようとする対象施設は、都道府県に対して、指定様式を添えて申請を行い、給付金を受けた対象施設は、都道府県が定める日までに、指定様式を添えて報告を行う。都道府県に対しては、給付の支給について、可能な限り速やかに開始できるよう努めた上で、申請受付開始日や申請期限を決定するよう求めている。

給付金の支給を受けた開設者又は開設者であった者において、▼都道府県において、対象施設から報告があった申請内容が明らかに事業の目的に合致していないと認められる場合、▼申請内容を偽り、その他不正の手段により給付金の支給を受けたと認める場合、▼2025年3月31日時点でベースアップ評価料を届出見込みであることにより、給付金の支給を受けた対象施設が2025年3月31日までにベースアップ評価料を届け出なかった場合 ——のいずれかに該当する場合、都道府県は、支給を行った給付金全額の返還を求める。



Dental Note

歯科技工「歴史的変貌」の時代へ

■ 歯科技工の担い手がなくなる

近い将来、高齢の歯科技工士が大量リタイアして、歯科技工士不足がさらに深刻になると予測されています。厚生労働省の2022年度衛生行政報告例（就業医療関係者）による年齢階級別の歯科技工士数の割合を見ると、50歳代（23.3%）、60歳代（30.8%）と、50歳以上が半数以上を占めています。新規参入数の減少も深刻です。歯科技工士養成校の入学者数は、1993年の3155人から2023年には718人（全国歯科技工士教育協議会調べ）。同じ時期、養成校も72校から48校へと減っています。せっかく歯科技工士の国家資格を取得しても、短期間で離職する人が多く、減少に歯止めがかからないのです。

その結果、特に保険の入れ歯などは、受注する歯科技工所が見つけれられない事態が想定されます。これに対して歯科医院では、「①入れ歯を診療メニューから外す」「②歯科医師自身が歯科技工を行う」などの対応策が考えられますが、②の歯科医師による技工は卒前教育で技工実習が行われなくなっていることもあって、現実的ではありません。このままでは、「保険の入れ歯」を中心に欠損補綴に応じられない歯科医院が増加し、高齢社会の疾病構造に適合できなくなるおそれがあります。

■ 歯科技工は工業か、医療か

歯科技工士志望者の減少への対策として、歯科医師の有志らが「歯科技工士の業務範囲の拡大」を主軸とする制度改革を提唱しています。現行の歯科技工士法を改正し、診療補助業務を加える案が浮上。具体的には、訪問診療への帯同を想定し、歯科医院や歯科技工所以外の場所で義歯の修理などができるようにしたり、デジタル技術を駆使したリモートワークを広げたりするものです。

しかし、歯科技工の現場では、こうした議論に賛同する意見ばかりではなく、「歯科技工士不足の中、職域を拡大すればさらに深刻な人手不足に」「患者さんとのコミュニケーションが重い業務負担となる」など、むしろ、批判的な見方が目立つのが実態です。難しいのは、歯科技工士が医療従事者でありながら、同時に、モノづくりの職人でもあるという点です。どちらを重点に置くかによって、歯科技工の業態が大きく変わります。

例えば、中国では、歯科技工を「少量多品種を生産する工業」として明確に位置付けており、徹底した工程管理ができる規模の工場でなければ歯科技工業の開設を認めていません。

これに対して、日本では、歯科医院で歯科技工士を雇用して行う院内技工が理想だとする考え方が根強く、「歯科技工は医療行為」という意見が、制度改革の中でも垣間見られます。そのため、患者さんと接する対面行為を拡充すべきだ、という意見が、特に歯科医師の間から聞かれます。

しかし、実際には、歯科技工所の工業化に向けた業態変化は、かなり前から進んできました。大規模ラボがスケールメリットでデジタル化に対応。工業として必須の、トレーサビリティや品質管理のシステムを確立させています。一方、大多数の小規模ラボでは、電話とファックスのみで受注する昔ながらの業態が残っています。今後、それらの小規模ラボのほとんどが、高齢化によってリタイアし、近い将来、超高付加価値か、特異ニーズに応える「匠の技」のある工房を除けば、デジタル化が進んだ工業的なラボだけが残されていくと見られています。

■ 再び、院内技工も脚光を浴び始めた

では、院内技工の将来像についてはどうでしょうか。かつては、多くの歯科医院で歯科技工士を雇用して院内技工が行われてきました。院内技工の最大のメリットは、患者さんの前で色調や噛み合わせなどのチェックが行いやすい点です。21世紀に入り、院内で使用できるCAD/CAM機器が導入されると、初診からクラウンのセットまで1日で完了する「ワンデー治療」も登場しています。

現在、ほとんどの歯科医院では、院内技工は行われなくなっています。歯科医院経営が厳しくなり、人件費や設備費を賄えなくなったことと、疾病構造の変化で欠損症例が減少し、歯科技工のニーズそのものが限定的になってきたことが原因です。

しかし、ここ数年、中規模以上の歯科医院や法人を中心に、再び、歯科技工士の雇用が増えています。その中で、患者さんへの説明など歯科技工士兼コーディネーターとして活躍する女性が脚光を浴びるようになりました。全体的には、デジタル化、工業化が進む大規模な歯科技工所と、コミュニケーション能力も期待される院内ラボの歯科技工士、という2つの方向に、今後、伸展していくものと見られます。



業種の垣根を越える「介護関連サービス事業協会」設立

～ 参加企業 10 社 ～

介護関連サービス事業協会は2月27日、設立式およびカンファレンスを都内で開催した。同協会は、公的介護保険外サービスの社会的認知度の向上や信頼獲得の仕組みの構築、適切なサービス選択ができる環境づくりなどに向けて、民間企業10社により設立された団体。介護保険の補完的役割を果たす保険外サービス振興への活動に対し、経済産業省も期待を寄せている。

第1部の設立式では、同協会の概要・趣旨説明、経済産業省や厚生労働省からの支援・期待のメッセージが送られた。第2部のカンファレンスでは、介護保険外サービスの活用促進における課題や認証制度の必要性、今後の展望を主題にパネルディスカッションが行われた。

今年度は、生活支援サービスと配食サービスについてのガイドラインの策定や認証制度の立ち上げに取り組むほか、4月から中小企業を含めた4つの区分(一般会員・中小企業・パートナ一会員・賛助会員)で入会を受け付ける予定。

昨年3月の「設立宣言」時点の参加企業は次の10社——イチロウ株式会社、株式会社クラウドケア、株式会社シニアライフクリエイト、株式会社シルバーライフ、SOMPOケア株式会社、株式会社ダスキン、株式会社チェンジウェブグループ、株式会社ツクイ、株式会社やさしい手、ワタミ株式会社。



ケアプランデータ連携システム フリーパス説明会開催

～ 厚生労働省 ～

厚生労働省は2月25日、「介護情報基盤」の一部として運用を開始したケアプランデータ連携システムの「フリーパスキャンペーン説明会」の案内を自治体などに事務連絡した(介護保険最新情報 Vol.1358)。フリーパスキャンペーンは、同システムの利用を促すため、すべての介護事業者を対象にシステム利用料(通常年間2万1,000円)を、申請日から1年間無料にするもの。説明会は、運用主体である公益社団法人国民健康保険中央会が3月14日(金)にYouTubeライブ形式で開催する(13:30～15:00、事前申込み不要)。同会によると、キャンペーンの申請期間は今年6月1日から来年5月31日までの予定。



Environment Note

野菜残さでウニを養殖 ～ 磯焼けや食品ロス対策 ～

■ ピクルスや静岡の高校

海藻を食べ「磯焼け」の原因となるウニを捕獲し、野菜の残さを与え養殖する。そんなプロジェクトが、漬物大手ピクルスホールディングス（HD）傘下のピクルスコーポレーション（所沢市）や静岡県立焼津水産高校（焼津市）などの連携で進められている。

10日には養殖したウニの試食会が飯能市内のレストランで行われ、生徒らは「安くおいしく食べられるようになると、うれしい」と評価。同社は「食べられるウニに育ったことは大きい」と、レストランのメニューに取り入れることなどを展望する。

高級食材のイメージを持つウニだが、大量発生するとアカモクなどの海藻類を食べてしまう。魚や貝類がすめなくなり、生態系にも影響を与えて磯焼けを引き起こす。焼津水産高に近い静岡市の用宗海岸でも磯焼けが見られるという。

「海の困りごとを野菜で解決しよう」と2022年11月から始まったのが、ウニの養殖プロジェクトだ。養殖に活用するのは、海岸で採集された直径4号ほどのムラサキウニ。同校は冬期のウニの養殖に欠かせない加温可能な施設を備えている。養殖には同校栽培漁業科の生徒4人が取り組んだ。

ピクルスは漬物や総菜の製造過程で発生する野菜などの残さを、ウニのえさとして提供。生徒が飼育かごの個体に与え成長を見守った。

さらに山梨大の埴宗継助教が生態のデータを分析した。ウニがキャベツやハクサイ、廃品の乾燥ワカメなどを食べ、生殖腺（食用になる部分）の比率も改善されることなどが分かった。

プロジェクトの成果発表として、ピクルスHDが運営する飯能市飯能の「OH!!～発酵、健康、食の魔法!!～」内のレストラン「Femy（フェミー）」で試食会が開かれた。養殖に取り組んできた生徒のうち、岡田さくらさん、津田瑞基さん、佐々木素晴さん＝いずれも（18）＝が出席。「ムラサキウニのジュレがけキャビア添え」に調理された養殖ウニの味を確認した。

津田さんは「自分たちが生産したウニが消費者に提供できればうれしい」。佐々木さんも料理を口に運び、「感動する。取り組んだかいがあった」と話す。生徒の指導に当たった同校の前田玄教諭（40）は「ウニとしての養殖は技術的にある程度、確立されつつある」と語る。一方、「天然のウニと比べ、身の入りや風味が課題として残っている」と説明する。

ピクルスの担当者は、養殖ウニについて「味や収量に改善の余地がある」とした上で、商業化には「質の改善の取り組みと同時に、提供に耐えられるだけの生産規模が必要になってくる」と説明。「まずはゴールとして試食会の成果発表ができたところで、一歩前進できたと考えている」としている。





Topics Note

目指せ シニアのインスタグラマー
～ 60～90代が観光PR 秩父 ～

■ 操作の疑問、仲間と解決

「目指すは、フォロワー（利用者）数1万人超えのインスタグラマー」。秩父市のシルバー人材センターに在籍する60～90代の市民8人は、高らかに宣言する。8人は「秩父街物語案内人」のユーザーネームで、4月から、写真共有アプリ「インスタグラム（インスタ）」を活用し、秩父札所34カ所や神社、イベント、季節の花など、秩父地域の観光情報を発信している。交流サイト（SNS）って何？ フォロワーとは？ シェアは？。頭に浮かぶ数々の疑問符を一つずつ解決させながら、黙々とスマートフォンの画面操作にいそしむ日々だ。

秩父街物語案内人のメンバーは、稲垣利夫さん（92）、大野智恵子さん（78）、引間都千代さん（77）、勅使河原文子さん（75）、浅見文康さん（74）、垣塚和雄さん（74）、水野晴夫さん（73）、鳥羽正子さん（64）。「案内本には載っていない秩父観光の魅力を全国、世界に発信し、地域を盛り上げよう」。水野さんの呼びかけの下、秩父市出身の有志が集まった

■ 無料相談で学ぶ

メンバーは普段、シルバー人材センターのガイド班として、観光客に秩父の名所を案内している。最年長の稲垣さんは「札所の参拝客に秩父へ来た理由を尋ねたところ、『都会らしさもあり、田舎らしさもあるところが魅力』と返ってきた。どんなところが都会らしく、田舎らしいのか、私には分からなかった。市民でも知らない、気が付かない、秩父の魅力をもっと追求したい」と、メンバー入りを決意した。

結成前まで、SNS経験者は最年少の鳥羽さんのみ。全員スマホは持っているが、電話やメッセージ機能しか使ってこなかった。メンバーは、「先生」の鳥羽さんに指導を仰ぎ、鳥羽さんでも分からない操作は、地域交流施設「長若集学校」（小鹿野町）のパソコン無料相談に足を運び、インスタ操作を学んだ。「誰一人、置き去りにしない」。それが、メンバーとの間で交わされた約束だ。

鳥羽さんは「写真を撮って共有する『シェア』など、用語の説明が難しいが、みんなは普段（通信アプリの）ラインを使いこなしているのだから、操作のみ込みは早い」と話す

■ 息子と孫が感心

インスタへの投稿は、それぞれが好きな時間に行う。札所巡りのポイントや、散歩途中に見つけた花々、今日のランチなどをスマホで撮影し、文章を添える。「スマホ操作に強い人、撮影がうまい人、寺や神社の知識が豊富な人など、それぞれの得意分野を共有して運用しているので、誰一人欠かせない」と鳥羽さんは説明する。

垣塚さんは「インスタを始めたことで、地域外で暮らしている息子と孫に感心された」と笑顔を見せる。浅見さんは「ある程度の操作は分かってきたが、まだまだ学ぶべき部分はたくさんある」と気を引き締める。

「秩父街物語案内人」（chichibuguide）のインスタフォロワー数は、5月29日現在114人。「フォロワー1万人超えを達成させるため、今後も投稿と研究を重ねていく」と、メンバー一同は口をそろえた。